

テニススクールの友だちのやさしさ

ベルギー ブラッセル日本人学校小学部

3年 徳田 篤樹

ぼくは、テニススクールに通っています。メンバーは4人で、日本人はぼくだけです。メンバーの中でも、メヒヤンヌくんとかれの弟のトムくんと、よくいっしょに練習します。

テニスコーチは、フランス語を話します。コーチの言葉は早口で聞き取れないので、ぼくだけいつも練習のやり方がわかりません。でも、ぼくが困っていると、メヒヤンヌくんがかんたんなえい語やジェスチャーで、どうすればいいのか教えてくれます。メヒヤンヌくんがやり方を教えてくれると、不安な気持ちがなくなり、安心して楽しく練習ができます。メヒヤンヌくんのおかげで、フランス語も少しずつわかるようになりました。

冬に雪がふりつもった日がありました。テニススクールまで、長ぐつをはいて、25分歩きました。着いたとき、長ぐつもくつ下もびしょびしょにぬれていました。かえのくつ下をわすれてしまったので、くつ下の水をぎゅっとしぼって、はきなおしました。でも、はいたら冷たいし、ぐにゃぐにゃして気持ち悪かったです。それを見ていたメヒヤンヌくんが、よびのくつ下をかしてくれました。いつも助けてもらって、本当にうれしいです。思いやりがあってやさしいメヒヤンヌくんを、ぼくはもっと好きになりました。

くつ下を返すときに、お礼を言いたかったのですが、お母さんに手伝ってもらいながら、フランス語をじしょで調べました。カードに、

『くつ下をかしてくれて、ありがとう。うれしかったよ。』

とフランス語で書いて、わたしました。メヒヤンヌくんは、カードを見てえがおになり、

「フランス語、じょうずだね。」

と言いました。こんな少しの言葉なのに、ぼくの心はほわっと温まり、がんばって書いてよかったなと思いました。

「こんにちは」は、フランス語で「ボンジュール」、「さようなら」は「オーバー」と言います。いつもテニススクールに行くと、友だちにフランス語であいさつをしています。でも、半年すぎたころ、ぼくがいつものようにフランス語であいさつをしたら、日本語で、

「コンニチハ。」

と、メヒヤンヌくんとトムくんが答えました。ぼくはびっくりして、

「どうして話せるの。」

と聞いたら、二人は真っ赤な顔で、

「家で練習したんだよ。」

「さようならも言えるよ。」

と、はずかしそうに言いました。ぼくのために日本語のあいさつを覚えようとしてくれた気持ちが、すごくうれしかったです。本当の友だちになれた気がしました。

言葉がわからなくても、相手のことを考えて助けてあげようという気持ちがあれば、わかりあえると思います。友だちから学んだ「相手を思いやる心」を、ぼくも伝えてきたいです。みんなが、ぼくのように心がほわっと温まったらいいなと思います。